



お客様訪問記

『日本経済新聞社 東雲工場』様

江東区東雲にある日本経済新聞社様東雲工場を訪問しました。こちらでは日経新聞を印刷しています。

インクの匂いのする印刷所内に、本社整理部から突然紙面の差し替えの連絡が入った時に、そのことを知らせるパトランプの取り付け工事(3箇所)を行いました。輪転機が回っていると隣で話している人の声も普通の声では聞こえないほどの轟音がひびいています。そんな中で、このパトランプが重要な役割を果たします。

長いところでは110メートルものケーブルを天井裏にもぐり、通線工事を行います。そのケーブルを通す電線管に壁と同じ色で仕上がり綺麗にみせるため、スプレーでペンキを塗る作業からはじまりました。美しい仕上がりこだわる、まさに田中電気ならではのきめこまやかな仕事です。

田中電気の社員紹介
『今月のこの人』

今月は、民放5社様のTV中継局保守点検及びデジタル工事を担当する放送システム本部の立石さんを紹介いたします。

浦和事務所技術部から秋葉原本社営業に移って1年。3年前に社内結婚をされました。この日も結婚記念日にプレゼントしたディズニリゾートで購入したネクタイをしている愛妻家です。

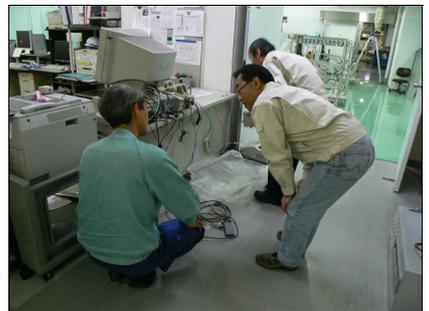
趣味は乗馬でライセンスも持っています。試合に出た経験も。『最近では忙しくなかなか乗馬には行かれません。皆さまが24時間安心してTVを見られるようがんばります。』



放送システム本部
立石 正二郎

日本経済新聞社技術部の加藤様(写真一番左)に、田中電気の印象を伺いました。

『無理難題を言っても言えばなんでもやってくれるので助かります。急なスケジュールにも対応してくれてありがたいです。営業マンも技術的にも詳しく、ユーザーの意見をトータルにまとめてくれるので今後も田中電気さんにはいろいろとお願いします。』



何でもお気軽にお問い合わせください

(記事に関する事や、田中電気へのご質問・その他ご相談など)

0120-118-772 または afc@tanaka-denki.co.jp まで
秋葉原ファクトリーは田中電気のお客様のための窓口です

アキバにこんなところあったんだ！ 『ハイジクラブ』



店内はハイジのDVDが流れています。久々に観て本気で泣いてしまいました

をつくる小麦粉はスイスから輸入してこの場で焼いているとのこと。ハイジの白パンは品切れのため、黒パンのランチセット(写真下・680円)を食べてみました。



冷たいジャガイモのスープが美味しい。純粋なハイジの世界に心が洗われます。

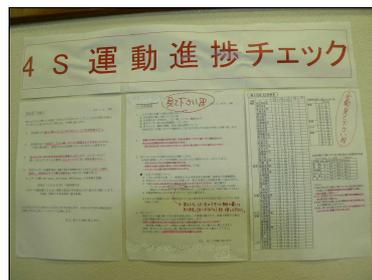
SHOP DATA 千代田区神田練堀町68-2
第二横島ビル2階 03-5297-5812
営業時間: AM11:00~PM7:00 年末年始休み

ヨドバシカメラのJR側の出口の並びを末広町方面に3分ほど進んだ右手に、こじんまりとしたビルにハイジの看板がみえます。

2階へ上がっていくと可愛らしいハイジの世界が広がっています。パン

★お知らせ

『4S(整理 整頓 清潔 清掃)運動』 を実施しました



- ①どれくらい改善するか→見違えるくらい
- ②机の上→退社時机の上には必要最小限の物以外一切置かない。床→ダンボールなど机の下、床に直置きすることは一切禁止

「机の上にはパソコンと電話以外置かない！」を目標に取り組みました。やってみて社員の声は、『全体的に、ものすごい量のゴミでした。机の中も何年も前から引き継いでいた書類を処分して、スッキリしました。今まで一部しか使えなかった引出しも入れるスペースが出来、仕事の的にもスッキリして良かったです。』(総務部 軽木さん)

4Sを実施して、スッキリした気持ちでお客様にも喜んでいただける仕事をして参ります！



まずは本社から。各営業所も実施します

江戸の歴史

『清澄庭園』

シリーズ No. 7

泉水、築山、枯山水を主体にした「回遊式築山山水庭園」で、江戸時代の大名庭園に用いられたものですが、明治時代の造園にも受け継がれ、清澄庭園によって近代的な完成をみたといわれています。

この地の一部は江戸の豪商・紀伊国屋文左衛門の屋敷跡と言い伝えられています。

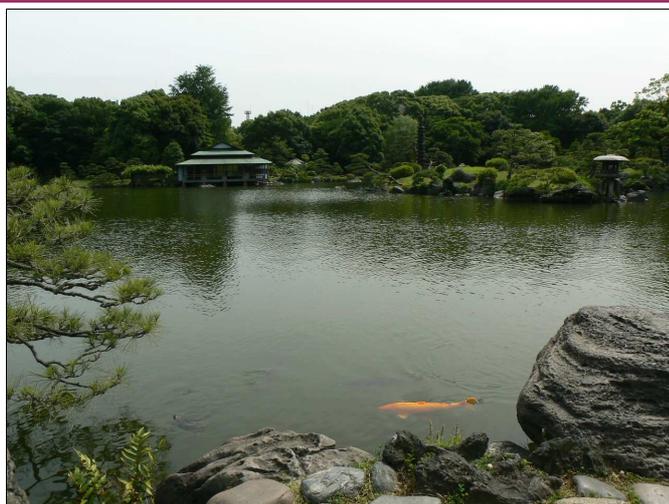
ある年、紀州ではみかんが豊富にとれ、値段が急激に下がった。江戸では逆に値上がりをしているという情報を文左衛門が入手した。嵐の中を決死の覚悟で船を出し、みかんを江戸へ大量に運び巨万の富を得たといわれている。通貨膨張の真っ只中、物価が高騰しつづける中であって、情報を元に果敢に行動を起こした男として語られている。

享保年間(1716~1736年)には下総国関宿の城主・久世大和守の下屋敷となり、その頃にある程度の庭園が形づくられたようです。明治11年、岩崎弥太郎が、荒廃していたこの邸地を買い取り、社員の慰安や、貴賓を招待する場所として庭園造成を計画、明治13年に「深川親睦園」として一応の竣工を見ました。

その後も造園工事は進められ、隅田川の水を引いた大泉水を造り、周囲には全国から取寄せた名石を配した。関東大震災で大きな被害を受けたが、この災害時の避難場所としての役割を果たし、多数の人命を救いました。こうした庭園のもつ防災機能を重視し、翌大正13年には破損の少なかった東側半分を公園地として東京市に寄付、そして昭和7年7月に一般公開となりました。

地下鉄半蔵門線・大江戸線「清澄白川」駅下車3分です。

(Yahoo地域情報参照)



【編集後記】4Sですっきりとした本社内が心なし広く感じられます。本格的な夏も間近ですね。この夏は、8月に千葉マリスタジアム・幕張メッセで毎年行われる『サマーソニック』という野外の音楽フェスティバルに初参加してみたいと思いチケットを取りました。今から楽しみです。夏が大好きなので短い夏を思い切りのしみたいです♪